

目 次

I	体育原理専門分科会の夏期合宿研究を終えて……………東京学芸大学	石 渡 義 一 ……	1
II	研究発表		
1.	文化としての日本武道……………早稲田大学	志々田 文 明 ……	2
2.	道元「有時」と「身心学道」 — その存在論と身体観 — ……………近畿大学	近 藤 英 男 ……	5
3.	生活の体育科について……………武蔵野体育研究所	金 原 勇 ……	11
III	体育原理専門分科会シンポジウム予演会		
1.	体育・スポーツ等に関する用語概念について……………筑波大学	片 岡 暁 夫 ……	16
2.	体育・体育科教育・スポーツ教育との関連性 — その範ちゅう論的試み — ……………筑波大学	佐 藤 臣 彦 ……	19
3.	スポーツと体育の関連性と意義 ……………日本体育大学	阿 部 忍 ……	28
4.	現代における体育とスポーツの意義 — 司会を終えて — ……………早稲田大学	佐 藤 千 春 ……	31
	生がい運動研究会	篠 田 基 行	
5.	学会大会におけるシンポジウム報告……………		35
IV	名称変更に関する合宿全体討論会報告……………東京学芸大学大学院	太 田 繁 ……	37
V	報告・その他		
1.	「体育の原理」編集委員会からの報告……………早稲田大学	佐 藤 千 春 ……	38
2.	学会大会総会報告		
(A)	名称変更に関する審議報告……………		39
(B)	昭和57年度会計報告……………		40
(C)	代表世話人交代に関する報告……………		41
3.	研究月例会(関東地区)……………		41
4.	日本体育学会体育原理専門分科会会員名簿……………		42